

# 事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 4 年 2 月 10 日時点

事務事業名	コード 25600	水産業総務事務費	予算科目	会計 一般	款 6	項 3	目 1	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業	
実施体系	基本施策 1	農水産業の振興	根拠法令	旭市農水産振興事業補助金交付要綱、千葉県栽培漁業振興総合対策事業補助金交付要綱					担当班	振興班
	施策の展開 3	水産業の振興	戦略事業	19 栽培漁業振興対策事業						
	施策の展開		戦略事業	21 担い手・後継者の育成						

## (1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	(1) 千葉県栽培漁業振興総合対策事業補助金(将来の水産資源の安定供給のためダンベイキサゴ(ながらみ)の種苗放流する事業の経費の一部補助) (2) 旭市農水産振興事業補助金:①後継者育成補助金(研修会、イベントの経費の一部補助) (3) 水産朝市補助金(飯岡漁港で水揚げされた水産物を水産朝市で直売するイベントの経費の一部補助)【平成27年度廃止】	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
漁業従事者の環境は、水産資源の減少や輸入水産物の増加及び景気の後退などにより経営は悪化をたどり、漁業者の高齢化、後継者不足など一層厳しい状態にあるため、各事業において補助を行うことで経営の安定を図ることを目的として、旧旭市、飯岡町で実施していた補助金を合併後も引き続き実施。	平成27年10月に、道の駅楽里あさひのオープンにより、飯岡漁港で水揚げされた鮮魚・活魚や旭市産の水産加工品が直売されるようになった。漁獲量が減ってきており平成27年度に水産朝市が開催できず補助金が廃止となった。	特になし

## (2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算) 単位:千円	
1.栽培漁業振興対策事業補助金	80 千葉県栽培漁業振興総合対策事業補助金
2.水産振興事業補助金	
② 特定財源の内訳(2年度の決算) 単位:千円	
1.国庫支出金	
2.都道府県支出金	50 千葉県栽培漁業振興総合対策事業補助金(経費の3分の1)
3.地方債	
4.その他	

事業費	費目内訳	単位	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
事業費	1. 栽培漁業振興対策事業補助金	千円	80	80	80	80	80
	2. 水産振興事業補助金	千円					
	事業費計(A)	千円	80	80	80	80	80
	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円	50	50	50	50	50
財源	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	30	30	30	30	30

前年度増減理由	
---------	--

従事職員数 常時 1人 最大 人 × 日 = 延べ 人

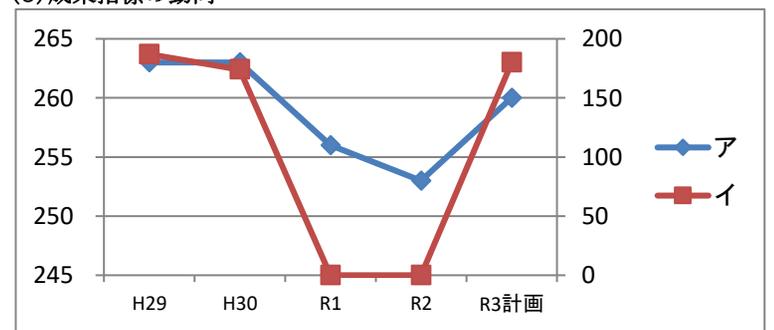
## (3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動) 補助金の交付(ながらみの放流)	ア 研修会参加・先進地視察の実施	回	0	0	0	0	3
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	対象意図 漁業従事者・水産加工業従事者数	ア 旭水産加工業協同組合・海匠漁業協同組合の組合員数	人	263	263	256	253	260
	対象意図 後継者育成等による従事者数減少の歯止め	イ 貝類の漁獲量	t	187	174	未公表	未公表	180
	対象意図 漁業従事者							
対象意図 漁獲量の増加による所得向上								

## (4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	成果向上余地	コスト比率		
	かなりある	ある程度ある	ほとんどない	
	大きい	②		
普通				
小さい				
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②	(2)		
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

## (5) 成果指標の動向



## (6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難				
【コメント】	新型コロナウイルスの感染症拡大が懸念されたため				
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	向上	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下
【コメント】	(低下の場合、その理由)				
③ 今年度取組事項	時期	内容		今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他( )
(3年度に取り組む主な事項について記載)	年度内	例年とおり実施		年度内	例年とおり実施